

山形県国際交流センター 外国人相談窓口通信

平成29年 6月

(公財) 山形県国際交流協会

山形県国際交流センターでは、県内にお住いの外国人の皆さまのために、日常生活に関する困りごとなどを母国語で気軽に相談できる窓口を開設しております。平成28年度の相談窓口の活動状況や相談の状況などをご紹介するとともに、併せて全国と県内の外国人人口の概況等をお知らせいたします。

平成28年度 外国人相談窓口活動状況報告

■外国人相談窓口担当者研修会（AIRY主催）の開催■（年2回）

第1回目は、6月23日（木）に「災害時、相談員に求められることは何か～東日本大震災の体験と熊本地震から、今、私たちが考えたいこと～」をテーマに、公益財団法人仙台観光国際協会の渡辺芳人さんからは東日本大震災時の対応についてお話しいただきました。同協会の菊池哲佳さんからは「避難所」でのワークショップを実践していただき、自分たちの「偏見」「思い込み」などたくさんの気づきがありました。第2回目は、11月10日（木）に、「外国人相談ワークショップ～相談事例から対応のヒントを見つけよう～」をテーマに、在住外国人の心理的問題やメンタルヘルスを専門とする臨床心理士の一條玲香さんから講義とワークを実践していただき、活発なディスカッションが行われました。

■「話題あれこれ話のサロン」の開催■

平成29年2月4日（土）に、当センターのサロンで行いました。「こどもたちが心ゆたかに育つために～みんなで学ぼう 進学のこと・教育費のこと～」をテーマに、学習塾アオバゼミナールの副塾長高橋ノリ子さんと山形こども日本語サポートネット代表の長藤節子さんをアドバイザーにお迎えし、開催しました。今後の日本の教育の大きな変化について、また、子育ての哲学、教育費のこと、また帰国子女や外国につながる子どもたちの「進路等相談」についてなど、話題満載のサロンでした。

外国人相談窓口 平成28年度の状況から

平成28年度に受けた相談件数は529件で、27年度の450件に比べ79件増加し、前年度の117.6%となっています。

◆相談者の国別傾向

外国人からの相談は265件で全体の50.1%（前年度比+4.5ポイント）、日本人からの相談は262件で全体の49.5%（-0.1）、国籍不明が2件で0.4%（-4.5）でした。

外国人からの相談を国別にみると、韓国人からの相談が相談全体の14.6%（+5.5）、ブラジル人11.5%（-4.5）、フィリピン人10.2%（+2.9）、中国人9.1%（+1.1）、その他の国々の方は3.6%（-1.5）となっています。

◆言語別の傾向

日本語での相談は352件で全体の66.5%（前年度比+1.2ポイント）、ポルトガル語での相談が39件で7.4%（-4.8）、中国語は66件で12.5%（+4.5）、タガログ語が38件で7.2%（+1.4）、韓国・朝鮮語が23件で4.3%（-0.6）、英語での相談が11件で2.1%（-1.7）、その他の言語での相談はありませんでした。

◆相談の形態・男女比

電話での相談は、54.4%（前年度比±0.0ポイント）、面接相談は37.6%（+3.2）、メールによる相談は7.2%（-3.0）、手紙による相談が0.8%（-0.1）でした。

相談者の男女比を見ると、女性の相談者が76.2%（前年度比+0.4ポイント）、男性の相談者は23.8%

(±0)、女性からの相談がやや増えました。

◆過去5年間に当センターが受けた相談の項目別相談件数の推移 (件)

項目	H24	H25	H26	H27	H28
1. 通訳・翻訳・語学学習等	57	53	52	41	56
2. 出入国・在留資格等	65	67	74	41	50
3. 家庭・戸籍関係	33	29	35	33	30
4. 社会保障諸制度	20	24	23	15	13
5. 医療関係	10	5	7	12	10
6. 労働・就職	27	10	10	10	18
7. 教育関係	23	31	13	19	20
8. 交通・運転免許等	4	3	9	9	3
9. 生活一般	180	158	181	223	280
10. その他の紹介・照会等	43	55	54	47	49
合計	462	435	435	450	529

◆相談項目別事例

① 通訳・語学学習等(56件 相談全体の10.6%)

電話での通訳対応、来所されての通訳対応。新たに日本語を学びたい人や学び直したい人への紹介、また子どもの日本語支援については他の団体と連携して対応しました。

② 出入国・在留資格等(50件 9.5%)

インターンシップ受入等、在留資格の取得に関する情報提供などがありました。相談内容によっては、山形市の専門相談を紹介しました。親族訪問については、昨年同様中国人からの相談が多かったです。

③ 家庭・戸籍関係(30件 5.7%)

子どもの認知について、二重国籍のこと、婚姻に係る諸手続きについて、夫婦間のトラブルの相談などがあり、情報提供をしたり内容によっては法務局などの機関をご紹介しました。

④ 社会保障諸制度(13件 2.5%)

年金に関する相談(受給資格、海外の年金受給資格等)があり、日本年金機構等を紹介しました。

⑤ 医療関係(10件 1.9%)

短期滞在中の外国人親族が急病で入院したため金銭的支援を求める相談がありましたが、制度がないことを伝えました。また外国語が話せる医療機関の紹介や予防接種の情報提供などをしました。

⑥ 労働・就職(18件 3.4%)

求職の情報を求める相談にはハローワークを紹介し、職場の人間関係の悩みについてはお話を聞き、アドバイスをしました。

⑦ 教育関係(20件 3.8%)

外国籍の子どもの日本語支援と進学に関する相談については、支援団体との連携で対応しました。

⑧ 交通・運転免許等(3件 0.6%)

日本での免許取得の方法や外国の運転免許の切り替え手続きについて、情報提供をしました。

⑨ 生活一般(280件 52.9%)

相談リピーターの方々からの「経過・結果報告」を、気持ちに寄り添ってお聞きする相談が多くありました。中には同国人同士のトラブルを抱えた方、病気が疑われる方からの繰り返しの相談もありました。

⑩ その他の紹介・照会等(49件 9.3%)

法テラスや無料の法律相談、山形市の専門相談の紹介、また当センター相談業務についての問い合わせ、

外国人支援団体の有無の確認などがありました。

複数の問題が重なり、問題解決が困難な状態にあり孤立していると思われる方々には、相談窓口が一つの拠り所になっているために繰り返しの相談につながっていると思われます。身近なところに、「行ける場所」や「話せる場」があることが望まれます。

平成29年度 相談員研修会について

今年度第1回目の外国人相談窓口担当者研修会を、6月28日（水）に行います。外国人の現状と課題の共有をテーマに、各々の相談窓口の状況を共有しながら、課題を探り、今後の相談窓口の在り方などについて、話し合う予定です。

山形県の外国人人口の概況

（数字は山形県商工労働観光部経済交流課国際交流室による）

山形県内の平成28年12月末における外国人人口は73の国・地域、6,229人で、前年(平成27年)の6,052人から177人(2.9%)増となり、平成17年の7,703人をピークに減少を続けていましたが、昨年に引き続きの増加となりました。

国籍別の在留状況

市町村別の在留状況 28年12月末

国籍	外国人人口(人)			構成比 (%)	対前年比 (人)	対前年増 減率 (%)	市町村名	外国人 人口(人)	対前年比 (人)	対前年 増減率(%)
	H26	H27	H28							
中国	2,563	2,368	2,271	36.5	△97	△4.1	山形市	1,217	55	4.7
内数(台湾)	(76)	(98)	(108)		(10)	(10.2)				
韓国・朝鮮	1,687	1,652	1,604	25.8	△48	△2.9	米沢市	575	△25	△4.2
(朝鮮)	-	-	(39)							
フィリピン	666	674	731	11.7	57	8.5	鶴岡市	663	39	6.3
ベトナム	317	503	654	10.5	151	30.0	酒田市	444	△54	△10.8
米国	120	127	145	2.3	18	14.2	天童市	368	59	19.1
インドネシア	72	106	121	1.9	15	14.2	新庄市	311	32	11.5
タイ	85	96	118	1.9	22	22.9	寒河江市	285	12	4.4
ブラジル	78	62	59	0.9	△3	△4.8	東根市	247	4	1.6
英国	44	44	51	0.8	7	15.9	長井市	239	5	2.1
マレーシア	42	40	42	0.7	2	5.0	南陽市	188	8	4.4
その他の国々	349	380	433	7.0	53	13.9	他の市町村	1,692	△42	△2.5
総数	6,023	6,052	6,229	100	177	2.9		6,229	177	2.9

国別の状況

中国（台湾を含む）が2,271人で全体の36.5%を占め、以下韓国・朝鮮1,604人(25.8%)、フィリピン731人(11.7%)、ベトナム654人(10.5%)と続いており、これらアジア4カ国だけで全体の84.5%を占めています。その他、米国145人(2.3%)、インドネシア121人(1.9%)と続いています。

男女別の状況

6,229人のうち、女性は4,620人(74.2%で対前年比1.6減)、男性は1,609人(25.8%同1.6増)、となっています。外国人人口が多いアジアの4カ国については、女性の占める割合が中国は74.5%、韓国・朝鮮85.7%、フィリピン91.2%、ベトナム72.5%となっています。

在留資格別の状況

「永住者」が3,070人で全体の49.3%を占め、以下「技能実習」1,284人(20.6%)、「日本人の配偶者等」446人(7.2%)、「留学」295人(4.7%)、「特別永住者」285人(4.6%)、「定住者」

174人(2.8%)、「技術・人文知識・国際業務」163人(2.6%)、「家族滞在」161人(2.6%)、などとなっています。「永住者」「日本人の配偶者等」の外国人は県内全市町村に在住しています。

在留資格別在留状況

在留資格	外国人人口(人)			構成比 (%)	対前年比 (人)	対前年増減率 (%)
	H26年	H27年	H28年			
永住者	3,089	3,085	3,070	49.3	△15	△0.5
技能実習	1,170	1,210	1,284	20.6	74	6.1
日本人の配偶者等	466	444	446	7.2	2	0.5
特別永住者	304	297	285	4.6	△12	△4.0
留学	253	256	295	4.7	39	15.2
定住者	166	158	174	2.8	16	10.1
家族滞在	160	160	161	2.6	1	0.6
教育	88	90	97	1.6	7	7.8
技能	85	80	74	1.2	△6	△7.5
※人文知識国際業務	71					
※技術	28	108	163	2.6	55	50.9
永住者の配偶者等	26	20	25	0.4	5	25.0
上記以外の在留資格	117	144	155	2.5	11	7.6
総数	6,023	6,052	6,229	100	177	2.9

※これまでの「人文知識・国際業務」と「技術」は、二つ合わせて「技術・人文知識・国際業務」になりました。

全国の外国人人口の概況

平成27年末現在における国内の在留外国人数は、**223万2,189人**で、前年末に比べ11万358人(5.2%)増加しました。また、男女別では、女性が118万2,119人(全体の53%)、男性が105万70人(全体の47%)となり、それぞれ増加しました。

多数を占める、出身国籍別・地域別登録者数は次表のとおりとなっています。(※「中国」は台湾を含む)

国籍	H27年(人)	構成比(%)	対前年比増減	対前年増減率(%)	在留資格	H27年(人)	構成比(%)
中国	714,570	32.0	19,596	2.8	永住者	700,500	31.4
韓国・朝鮮	491,711	22.0	△9,519	△1.9	特別永住者	348,626	15.6
フィリピン	229,595	10.3	12,010	5.5	留学	246,679	11.1
ブラジル	173,437	7.8	△1,973	△1.1	技能実習	192,655	8.6
ベトナム	146,956	6.6	47,091	47.2	定住者	161,532	7.2
上記以外	475,920	21.3	43,153	10.0	上記以外	582,197	26.1
総数	2,232,189	100	110,358	5.2	総数	2,232,189	100

法務省：平成27年末現在における在留外国人数について(確定値)より

◆山形県国際交流センター外国人相談窓口◆

相談直通電話： 023-646-8861

英語・日本語： 火～土 10:00～17:00

中国語： 火・金 10:00～14:00

韓国・朝鮮語： 木・土 10:00～14:00

ポルトガル語： 水 10:00～14:00

タガログ語： 金 10:00～14:00

相談専用メール：soudan@airyamagata.org

〒990-8580

山形市城南町一丁目1番1号 霞城セントラル2階

山形県国際交流センター

TEL:023-647-2560 FAX023-646-8860

インターネットによる情報提供、メールによる相談も行っております。どうぞご利用ください。

<http://www.airyamagata.org>